

浸水被害低減効果一覧

11月2日 大雨警報（浸水害）

下水道施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m ³)	貯留量 (m ³)	貯留率 (%)
① 新羽末広幹線	港北、鶴見	ポンプ排水	410,000	2,048	0.5%
② 小机千若雨水幹線	緑、神奈川	ポンプ排水	256,000	55,733	22%
⑥ 蒔田雨水調整池	南		22,000	950	4%
⑦ 江川雨水調整池	都筑		17,000	280	2%
⑧ たちばなの丘雨水調整池	旭		7,000	1,320	19%
⑨ 金井雨水調整池	栄		6,000	2,320	39%
⑩ 長津田地区東雨水調整池	緑		54,000	6,480	12%
⑪ 長津田地区西雨水調整池	緑		19,000	1,280	7%
⑫ 相沢雨水調整池	瀬谷		56,000	9,290	17%
⑬ 北綱島第二雨水幹線	港北		72,000	1,200	2%
⑭ 獅子ヶ谷雨水幹線	鶴見		6,500	20	0.3%
⑮ 戸部雨水幹線	西		11,000	190	2%
⑰ 初音雨水幹線	南		7,500	400	5%
⑲ 下倉田第二幹線	戸塚		8,200	1,030	13%
⑳ 東希望ヶ丘雨水幹線	旭		40,000	40	0.1%
㉑ 南希望ヶ丘雨水幹線	旭		8,000	10	0.1%
㉒ 二俣川1号雨水幹線	旭		13,000	50	0.4%
合 計			1,013,200	82,641	—

河川施設名	行政区	排水方式	施設容量 (m ³)	貯留量 (m ³)	貯留率 (%)
③ 今井川地下調節池	保土ヶ谷	ポンプ排水	178,000	56	0.03%
④ 舞岡川遊水地	戸塚	ポンプ排水	55,200	2,149	4%
⑤ 宇田川遊水地	戸塚	ポンプ排水	65,000	2,100	3%
合 計			298,200	4,305	—

総 計			1,311,400	86,946	—
-----	--	--	-----------	--------	---

25mプールで換算：**232** 杯分を貯留

※25mプール容量イメージ：幅15m×深さ1m×長さ25m=375m³

- 1 ポンプ排水方式の下水道施設については、最下流のポンプ施設による吐出量を集計した値を記載しています。
また、ポンプ排水を行いながら貯留しているため、貯留容量を超える値になる場合があります。
ポンプ排水方式の河川施設については、対象期間内に排水作業を実施し、複数回貯留した場合は、行を分けて記載します。
- 2 その他の排水方式については、ピーク水位の計測結果から算出した貯留量を記載しています。
※上記1、2の算出方法による値のため、浸水被害低減量は参考値です。
- 3 貯留実績があった施設のみ貯留量を記載しています。